

消防団 ネット in 川口

平成 30 年 12 月 7 日

第 58 号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 吉田 幸市

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

支団紹介

2 支団の紹介です

第 2 支団 支団長 荻原 徹雄

「この地に根ざした、誇り高い勇士の集まり」

当に、それが第 2 支団の目指すところだと考えています。しかし、まだまだこれからの成長への課題がたくさんあるのは事実です。

JR 京浜東北線の西口全域と一部東口を担当する第 2 支団の歴史は古く、旧横曽根村警防団がその発祥だとされています。歴代団員も地域を代表する面々でした。私が入団した頃、先輩達の威厳に若い団員は震える事がしばしばでした。男子が一度ハンコを押して入団したからには、何より優先して活動をしていただきます、と先輩に言われて、気が動転したのを今でも思い出します。

一度現場に立ち入れば命の保証がないのが消防団員。近年、多国籍な人種と組織が根を張る繁華街、そして賃貸マンションが乱立する複雑な事情の地域を受け持つ我々第 2 支団。

一番必要な団結を確認する為に怠ることのない日々の訓練。その日頃の訓練がいつの日か「我々が川口市消防団」と雄叫びを上げる日が、きっとくる事と信じています。



第 2 支団第 1 分団 分団長 浅倉 朋弘

第 1 分団は、川口駅、西川口駅の西口方面全域、及び並木元町、並木、西青木を第 1 出場の担当エリアとしておりますが、西川口西口方面を主な担当エリアとして活動しております。春と秋そして年末年始の火災予防広報や地域の防災訓練に参加して、住民に直接、火元の確認や放火の未然防止を呼び掛けております。しかし、近年多国籍の住民が急増しており、こうした方々が多く居住する建物からの火災発生事例があることから、多国籍の方々とコミュニケーションを図り、火災予防を呼びかけることが現在の課題となっております。

また、第 1 分団総勢 24 名中、20 代・30 代の団員が 15 名在籍しており、そのうち 3 名が大学生と若い活気に満ちておりますが、勤続年数も短く火災現場での実働経験も少ない為、定期的に基本的な消

火訓練を行っております。

若さと情熱で地域の「安心・安全」をガッチリ守るため、訓練に励んでおります。

第2支団第2分団 分団長 矢島 健

我々、第2支団第2分団は、川口駅西口・西川口駅西口及び本町・金山町を中心に活動している消防団です。

団員数は定員20名に対して現在17名と定員割れしており、団員募集に関しましては、日頃より団員に知り合いの勧誘を促しておりますが、団員数は少数ながら、非常にまとまりのある分団であると自負しております。

日頃の連絡は、すべてグループラインで連絡を取り合い、訓練や会議への出席については、必ず返答するよう、全員で心掛けております。



今年の4月には2名の退団があったものの、4名の新人団員が仲間に加わり、9月16日に行われた西地区合同防災訓練においては、十分な戦力となって活躍してくれました。

これから、特別点検に向けて第2支団第2分団は、一丸となって気合を入れて頑張りたいと思います。

支団車庫紹介 5支団

第5支団第1分団 団員 村田 彰一



第5支団車庫は川口市大字芝にあり、第1分団・第2分団が一つになっています。

車庫は昭和48年に木造1階建てで作られましたので40年以上も前に立てられました。

車庫には第1分団車両・第2分団車両・物置と詰め所・給湯室・トイレがあります。

ポンプ操法県大会

第7支団3分団 団員 長瀬 祐一

第7支団は8月4日のポンプ操法県大会に出場致しました。

各地域の沢山の消防団員が参加していました。

行進から始まり、選手宣誓、来賓のご挨拶もありポンプ操法県大会が開催に至りました。第7支団の順番になりますと7支団の応援にも熱が入り、選手は毎週2回暑い日も雨





の日も、全団員一致で練習した結果を出せる様、選手一同全力で悔いのない様ポンプ操法をミスもなくスムーズに、とても良い演技が出来たと思います。

結果としては、出場 14 チームいる中で 3 位と素晴らしい結果で終える事が出来ました。

この結果は、選手一同の努力はもちろん、神根分署の方々による熱意の指導、各分

団長、各団員全員が一致団結出来た結果だと思えます。

この団結を忘れず日々の消防活動に励んで行きます。

話はそれますが、当日に「ポンプ操法だよ！全員集合」と面白いガチャガチャがありました。300 円？と思い写真を取りました。



芝神戸町会防災訓練

第 5 支団第 1 分団 団員 村田 彰一

9 月 8 日（土）に芝神戸町会防災訓練が行われ、今回は芝中学校の学生も参加し、約 120 名程の多くの方々に参加して頂きました。

訓練内容は煙中体験、消火器、簡易トイレ設置、三角巾など北消防署、町会防災部ご指導の下行われました。

万が一、災害が起こってしまったときは頼りになる存在になってほしいと思いました。



消防団基礎教育研修

第 7 支団 3 分団 団員 長瀬 祐一

9 月 8 日土曜日 8 : 30 から 17 : 00 まで川口市消防局にて消防団基礎教育研修に参加してきました。

★対象者：入団 3 年以内で団員の階級にあるもの者

★実施場所：消防局 2 階視聴覚室

★実施内容：消防団員としての基礎知識の習得

当日のカリキュラムとして、組織制度で任免と階級や、消防団と消防署の関係。

火災防御で火災の定義、消火理論、火災防御戦術の原則、警戒区域設定要領の基礎知識、緊急自動車運行管理を学びました。

午後は救助時での応急担架の作り方、徒手搬送、そして資器材取扱の訓練を実施し基礎知識を学びました。

団員として、大変為になる事ばかり学ばせて頂きましたので、今回学ばせて頂いた事を忘れず、今後の活動で活かせるよう日々行動して行きます。

辻自主防災訓練

第10支団2分団 団員 渡邊 翔太

第10支団では9月2日（日）に辻地区の自主防災訓練に参加させていただきました。火災や災害が起きた時に迅速な対応ができるようにということで防災訓練を開催しております。

今回の防災訓練では AED の使い方、消火器の使い方、毛布を使った応急担架の作り方の3つ講習を行いました。AED や消火器は日常でほとんど使う機会がないので、使い方を知らない方が多かったです。子どもたちは初めて見るものに興味津々で、意欲的に取り組んでくれていました。自分が勉強になったものは応急担架の作り方でした。物干し竿2本と毛布で出来る簡易的な担架ですが、男性の体重でも崩れることなく運ぶことが出来ました。なにより必要な道具は普通の家庭で揃うものなので、覚えておくと災害時などに役に立つと思いました。



覚えておくと災害時などに役に立つと思いました。

地域の子どもと大人が一緒に防災について考え、学ぶことができた充実した時間でした。また、我々消防団員にとっても改めて学び直すことができた防災訓練になりました。



.....

【編集後記】

第8支団第1分団 団員 白鳥 真

平素は広報委員会の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。お陰様で団ネット58号を発行することができました。いかがでしたでしょうか？

さて、次号は11月に行われた特別点検が主な記事になる予定です。ご期待ください。

尚、広報委員会に対するご意見やご感想があれば是非、聞かせてください。よろしくお祈いします。



次号は2月ごろ発刊予定です